

▽ 0. 予備知識：「問題解決のフレームワーク」

活動の際に使用する「問題解決」という単語は「問題解決のフレームワーク(図1.)」を表現しています。

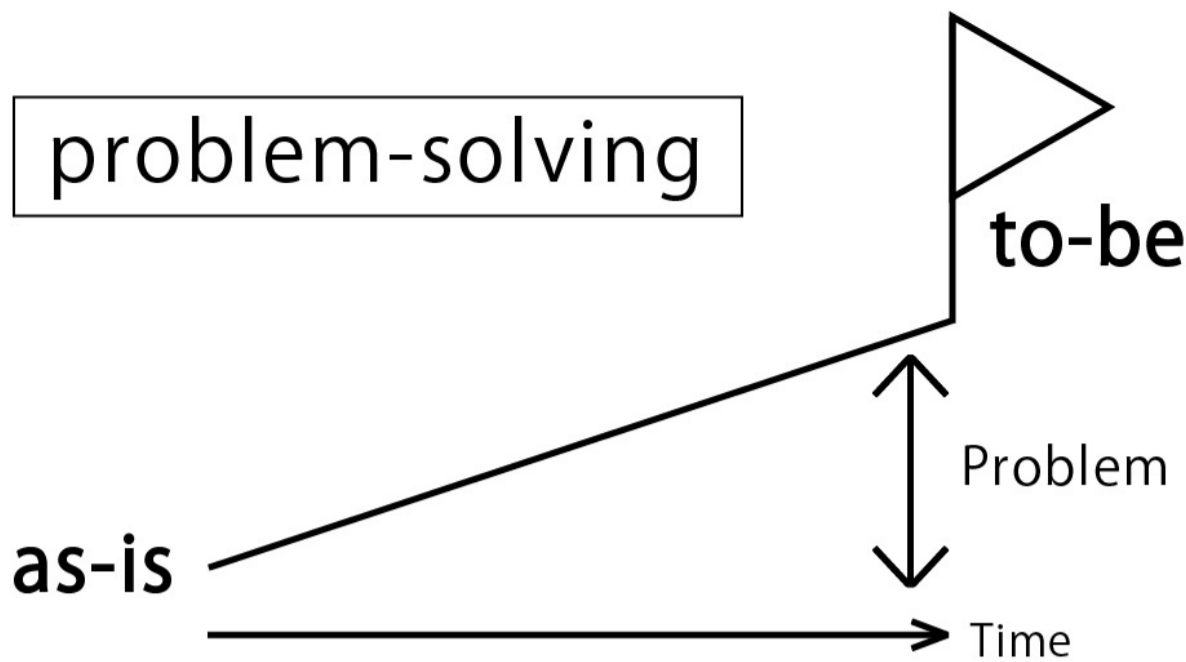


図1. 問題解決のフレームワーク

▽ 1. 予備知識：「管理」

「管理」の中で活動する過程で、人は「問題解決」の主語が「他者」となり「無関心/無気力/無責任」を「学ぶ」と考えています。

「管理」の方法には大きく分けて「支配/操作/評価」があります。

「支配」の主な手段は以下の通りです。

- 力...資源 / 資質 / 恐怖
- 規則...慣習 / 法律 / 規範
- 構造...血縁 / 体制 / 国家 など

「操作」の主な手段は以下の通りです。

- 報酬...金銭 / 承認 / 褒める
- 制裁...疎外 / 暴力 / 叱る など

「評価」自体に問題はないのですが、「支配/操作」の手段となる場合は、「問題解決」の「理想の状態を定義」する機会を奪ってしまうことにつながるため注意が必要です。

▽ 2. NPO法人Cafe de 寺子屋 の取り組む「問題解決」

NPO法人Cafe de 寺子屋は「『無関心・無気力・無責任』を解決し『みんなのことにみんなが協力する社会』の実現のために、よりよい『学びの場』を社会に提供する」ことを目指しています。

背景には、「『管理』をできる限り減らし、『私/私たち』を主語に『問題解決』に取り組む環境を提供することで、『自律/協調』を『学ぶ』ことができる」という考えがあります。

その手段として「寺子屋(▽3.)」を運営し、活動を全国に広げています。活動の際に気をつけることは、[組織運営「みる、きく、いう」](#)をご確認ください。

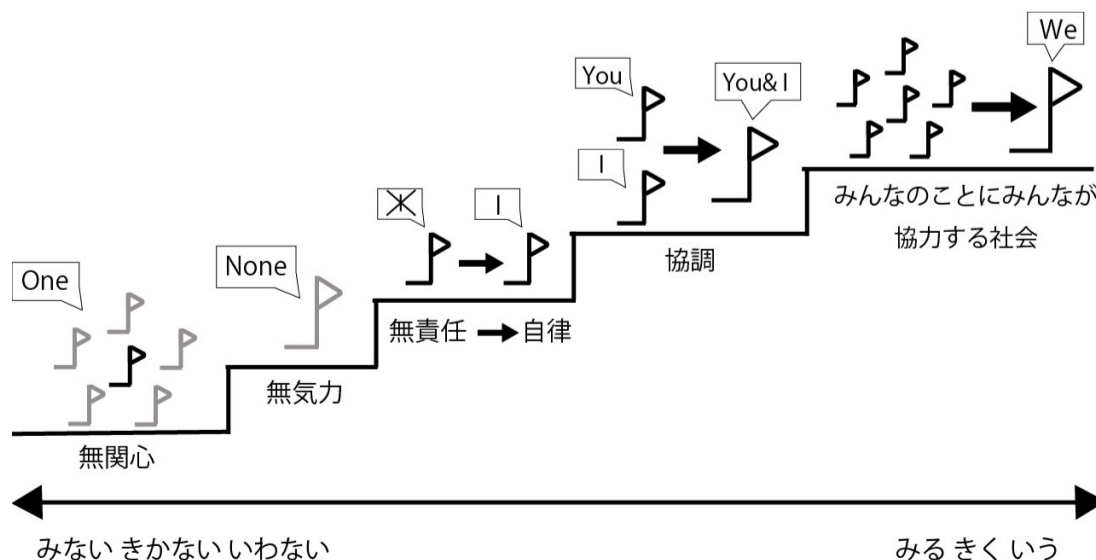


図2. NPO法人Cafe de 寺子屋 の取り組む「問題解決」

・問題解決 (problem-solving)

- ① 理想の状態 (to-be) を定義
- ② 現在の状態 (as-is) を分析
- ③ 問題 (problem) を特定
- ④ 解決策 (solution) を探索
- ⑤ 解決策 (solution) を実行

・管理

自己の問題解決のために、他者の問題解決に干渉すること

・学び (learning)

ヒト・モノ・コトの相互作用の中で活動する過程で、世界に対する解釈・理解が変化すること

・支配

差異と価値を結びつけて上下関係をつくり、他者に圧力を与えること

・操作

他者を動機づけて、判断を自身に都合のよい方向に誘導すること

・評価

同じ部分・似ている部分・異なる部分を見つけ、優劣をつけること

・学びの場 (field of learning)

連続的・連鎖的に「学び」が起こる空間

・「みんなのことにみんなが協力する社会」

問題解決の主語が「私たち」となっている状態

・協調 (polyphony)

問題解決の主語が「私とあなた」となっている状態

・自律 (autonomy)

問題解決の主語が「私」となっている状態

・無責任 (irresponsibility)

問題解決の主語が「私」となっていない状態

・無気力 (helplessness)

問題解決の主語がなく なっている状態

▽3. 「寺子屋」

「寺子屋 (図.3)」のコンセプトは「地域でいちばん心地よく、自学自習ができる場所」です。

スタッフと子どもは、「寺子屋」内での役割は異なりますが、対等な存在です。

子どもの役割は、「問題解決」の実践として「自学自習」に取り組むことで、スタッフの役割は、子どもの「自学自習」を、「配慮 / 対話」を通じて「支援」することです。

子どもは基本的に「"ひとりでできること"」をひとりで取り組みます。スタッフは、子どもの「"ひとりでできること"」を奪ってしまわないように（「管理」になってしまう場合があるため）、「"みんなとならできること"」のみに関わります。

いまは「"できないこと"」でも、経験を通じて「"みんなとならできること"」に変化します。また、「"みんなとならできること"」も「"ひとりでできること"」に変化することを考慮して関わります（フェードアウト）。

「支援」は大きく「脱・『管理』 / 自律 / 協調」の三段階に分かれています。詳しくは、[教育方針「教えないで教えよう」](#)を参照してください。

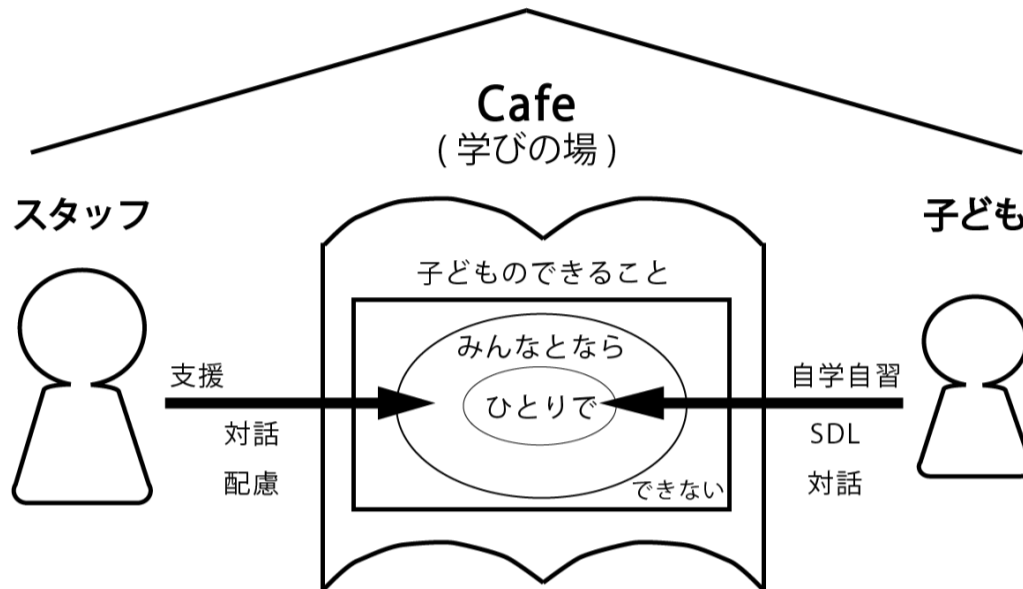


図3. 「寺子屋」

- ・無関心 (indifference)
- 問題解決の主語が合一されている状態
- ・地域
 - カフェから自転車で移動できる範囲にあるご家庭・地方自治体・お店・企業や、スタッフの所属している大学・高校
- ・対等
 - お互いにひとりの人間であること
- ・支援 (assist)
 - 主語を「私 / 私たち」として、問題解決に取り組む機会を提供すること
- ・自学自習 (self-learning)
 - 自主学習 (SDL) + 対話 (dialogue)
 - 自主学習 (Self-Directed Learning = SDL)
 - 学習者が自ら目的を認識し、計画・意思決定・コントロールに取り組む学習形態
- ・配慮 (coordinate)
 - "ひとりでできること"をひとりでできるように環境を調整すること
- ・対話 (dialogue)
 - お互いの見ている世界についての解釈・理解を重ね、物語 (narrative) を紡ぐこと
- ・"ひとりでできること" (without assistance)
 - 問題解決を「私」を主語に実行できること
- ・"みんなとならできること" (with assistance)
 - 問題解決を他者の支援を受けながら実行できること
- ・"できないこと"
 - 他者の支援を受けていても、問題解決を実行できないこと